

## まえがき

平野 隆<sup>i</sup>

本論集は、2021（令和3）年度慶應義塾学事振興資金（研究科枠）による慶應義塾大学大学院商学研究科研究プロジェクト「ポストコロナ時代における経済と経営」の研究成果をまとめたものである。

2019 年末以降、新型コロナウイルス（covid-19）の感染拡大は世界に甚大な被害をもたらしている。パンデミックはいずれ収束に向かうであろうが、この間に大きく変容した人々の消費行動や働き方およびそれらを規定する価値観が短期間のうちに元に戻ることはないと推測される。本研究プロジェクトでは、ポストコロナ時代において日本と世界の社会・経済がどのように推移していくのか、それに対して政府や企業はいかに対応すべきなのかという問題意識のもとで、商学の3つ分野（経営学、保険学、マーケティング論）の視点に即したサブ・テーマを設定し、それぞれの分野の大学院生が指導教授の助言のもとに理論的・実証的分析を行った。

各プロジェクトの成果は、2022 年 7 月 19 日（火）に開催された研究成果報告会において報告された。この報告会は日本国内におけるコロナウイルス感染拡大の第 7 波が進行する中、オンラインで開催された。当日は活発な質疑応答が行われ、報告者の各大学院生は異なる専門分野の視点からのコメントから多くの刺激を受けたと想像される。それらを糧として各自の研究が今後さらに進展することを大いに期待したい。

本論集には、当日の報告のもとになった論文 3 編を収録した。これらは今後、学術雑誌への発表などを目指して各著者により加筆修正される可能性がある。したがって、これらからの引用を希望する場合には、事前に各著者へご連絡いただくようお願いする。

---

<sup>i</sup> 2021 年度研究プロジェクト・コーディネーター（研究代表者）、慶應義塾大学大学院商学研究科委員